

2018年度 第2回 日本体育大学

学校・部活動における重大事故 ・事件から学ぶ研修会

教員志望や指導者を希望する学生、授業や部活動の一環として、多くの方のご参加をお待ちしております。

世田谷キャンパス 記念講堂
2018年11月7日(水)18時~20時30分

○ テーマ ○
『部活動中の重大事故と体罰の問題
について考える研修会』



【第1部】ラグビー頸椎損傷事故とリハビリ、その後の学校復帰

中村周平さん（同志社大学大学院）・中村淳さん（周平さんのお父様）

2002年11月、高校ラグビー部の練習中、頸椎損傷の重傷を負った周平さんは、首から下が思うように動かなくなったものの、努力で学業に復帰し、現在、スポーツ事故と補償の問題について研究しています。事故当時のお話と、懸命のリハビリ経験、復学時の状況などについて、当事者と家族の経験や思いについて語って頂きます。

【第2部】部活動における体罰が残したもの

①谷豪紀さん（桜宮高校バスケットボール部OB）

2012年12月、大阪市立桜宮高校で、当時バスケットボール部の主将が顧問からの体罰を苦にして自殺しました。谷さんは、この主将の先輩部員として、同じ顧問の指導を受けていました。当事者として、経験者として、部活動における暴力的指導は許されないとの思いを、日体生に向けて率直に語って頂きます。

②村川弘美さん（滋賀県愛荘町立秦荘中学校柔道部事件被害者遺族）

2009年7月、中学校1年生の村川康嗣君は、柔道部顧問からの「しごき」によって頭部外傷を受け、亡くなりました。周りからの執拗な中傷もあり、我が子を突然亡くし生きる希望を失ったご遺族は、生前から交流のあったプロボクサーとの交流によって身も心も救われました。亡き息子さんが繋いでくれた絆のお話に耳を傾けて下さい。



申込方法は下記URLまたはQRコードから申してください
<https://goo.gl/forms/WchAtdCkMaivbaWy1>
日本体育大学 総合スポーツ科学研究センター

TEL : 03-5706-0931
(担当: 中嶋・國嶋)

